

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援事業所ひまわり			
○保護者評価実施期間	2025年12月15日			2026年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	2026年12月15日			2026年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月30日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出支援を強化して実施しており、社会生活に必要なスキルを実践の中で身に着けられるような活動に力を入れていること。	土曜日、長期休暇中の療育時間に余裕がある際に実施し、出発前に児童と一緒に予定の事前確認をしたり、電車の乗車体験、買い物活動、外食体験など今後の生活で活用できるような支援プログラムを計画しています。	外出支援時に児童を主体とした活動予定（時間、交通手段等）の計画を行います。また、SSTとしてルールやマナーについて実践形式で体感する機会をより多くつくっていきます。
2	同法人の他の施設（乙訓ひまわり園）と距離が近く、施設機能の共有ができる。また同法人に就労支援や生活介護、グループホームなどの施設があり、卒後の進路としての連携ができる。	活動で第二ひまわり園の多目的室を利用し、室内での運動療育を取り入れたり、第三ひまわり園のカフェを利用した外食体験（配膳、食事）を行っています。 また、相談支援と卒後の進路に関しての連携を図っています。	卒後の進路に関しての相談会や見学等を実施し、保護者の皆様がより具体的な進路設計ができる機会を検討中です。
3	児童の皆様が安心して、楽しみに通所していただける環境づくりをしていること。	児童それぞれの「やりたい」という気持ちができる限り尊重したり、その日の体調・様子を見ながら、活動予定を適宜変更し活動しています。	活動予定の変更時には、児童が見通しを持てるよう丁寧な説明をより心がけ、活動に安心して参加できる環境づくりをします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSを活用した保護者様への活動報告の体制が整っておらず、活動の様子が伝わりづらいこと。	毎日の連絡帳や引継ぎ時の活動報告のみとなっており、その日の活動の様子が保護者様にわかりやすく伝わっていない。	早急にInstagramなどのSNS活用の体制を整え、利用者児童の様子を写真・動画で共有していきます。
2	放課後児童クラブや児童館との交流などの地域の子供たちとの交流が無いこと。	地域の子供たちと関わる機会がつくれていない。	様々な年齢層、特性を持った児童が利用され、活動と共に行っているため、事業所内で交流を取る機会が多くあります。加えて保護者様のご意見、ご要望をお聞きしながら、地域の図書館や公園を利用する際に、職員が間に入るなどして交流を持つほか、活動として近隣の学童に訪問するなど機会をつくります。